

おかざき 市議会だより

12月定例会

平成22年2月1日発行

本市市議会の一般質問に初めて一問一答方式を導入
分かりやすい議会運営を推進



No. 151

目次

- 市長提案説明…………… 2
- 議案審議…………… 3
- 討 論…………… 4
- 議案・請願・陳情審議結果…………… 5
- 一般質問…………… 6～11
- 3月定例会予定ほか…………… 12

市長提案説明



本市の22年度の法人・個人市民税は相当な減収が見込まれており、予算編成では経常的な経費の10%の削減と、その他の経費については優先順位を付け編成を進めている。特に投資的経費は思い切った事業の中止等に迫られており市民サービスへの影響を最小限に抑えるため十分に精査し事業の選択を進める。

主要事業

国は子ども手当の創設など子育て支援策の財源確保のために子育て応援特別手当の執行停止を決定した。本市ではその準備に一部執行した経費もあり適切に処理を進める。また、公共投資臨時交付金は第一次分として1億600万円の交付が提示されたが追加公共事業の中止等により一部の執行が危ぶまれている。二次分を含む早期の交付決定に期待する。

県は新型インフルエンザワクチン接種の基本方針に従い医療従事者や妊婦、基礎疾患を有する1歳から小学校3年生までの子どもへの接種を開始した。基礎疾患のある小学校4年生以上と1歳から小学校3年生までの子どもへの接種

も予定され、ほぼ順調に進んでいる。接種費用の負担軽減については、国は優先接種対象者のうち住民税非課税世帯を、本市は小学校4年生から高校生までと65歳以上の市民税非課税世帯についても補助を行っていく。

東岡崎駅周辺整備では名古屋鉄道から駅のバリアフリー化工事に着手したい旨の申し出があり、東改札口を新設する第一期工事に必要な手続を進めていく。また、北口駅前広場の都市計画変更についても22年秋ごろの告示を目指し説明会などを開催していく。

諸議案

制定条例としては、安全で安心して生活することができるまちづくりを目指す基本理念等を定める条例1件を、改正条例では、職員の勤務時間を改める条例など7件を提案し、その他議案としては字の区域の設定及び変更を行う議案など5件を提案した。

補正予算は、一般会計では18億3260余万円の増額、特別会計は7億9950余万円の増額、企業会計は3億3290余万円の減額補正である。

○12月定例会の動き

1日	本会議 開会、会期決定、市長提案説明
2日	本会議 一般質問
3日	本会議 一般質問
4日	本会議 一般質問
8日	本会議 議案説明、総括質疑、委員会付託
10日	経済建設委員会 福祉病院委員会
11日	環境教育委員会 総務企画委員会
14日	議会運営委員会
16日	議会運営委員会
18日	本会議 委員長報告、質疑、討論、採決 追加議案の説明、質疑、採決 閉会

●説明の要旨

過去10年間で最大級となった台風18号は、東海地方を直撃し多くの自治体が避難勧告を出す中、本市は57カ所に避難所を開設し25カ所の水防倉庫を開放して災害の発生に備えた。停電や断水を始め、街路樹の倒木や家屋の一部損壊のほか公共施設にも被害を受けたが、十分な対策により重大な被害は避けられた。今後はこれを教訓とし防災対策に生かしていく。

平成21年度に入り国の経済対策の効果や生産の持ち直し、アジア向け輸出の増加により日本経済は回復傾向にあるものの、失業率は依然高水準にあり回復局面入りすることは難しい状況にもある。

議案審議

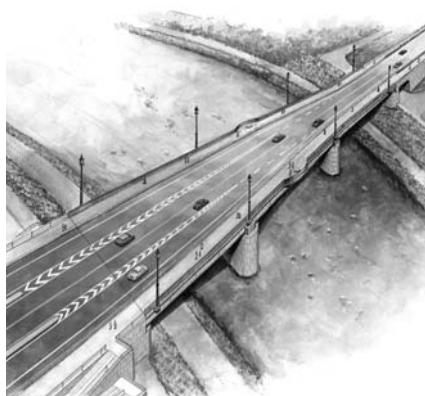
財産の取得

◇都市計画道路3・4・101岡崎環状線用地

朝日町、明大寺町地内の土地57筆、9440・90平方メートルを土地開発公社を経由して買い入れるもの。

質疑 岡崎環状線整備の進捗状況及び整備の必要性について伺う。

答弁 現在までの改良済みの延長は、1万3930メートル、進捗率は89・3%である。当路線は、市内中心部付近と市街地外縁を結ぶことにより、自動車の市街地への集中を分散し、交通の円滑化と歩行者の安全確保を目的としている。この路線の整備により市道竜美丘1号線と国道1号を結ぶことにな



岡崎環状線(イメージ図)

り、東岡崎駅へのアクセスなどの利便性の向上が図られるとともに、吹矢橋の渋滞緩和にも寄与するものと考えている。

条例の制定

◇犯罪のない安全・安心なまちづくり推進条例

犯罪のない安全・安心なまちづくりについて基本理念を定めるとともに市、市民及び事業者の責務を明らかにすることにより、犯罪防止に対する意識を高め、犯罪の機会を与えない活動を推進し、市民が安全で安心して生活することができるようまちづくりの実現に寄与するもの。

▼平成22年1月1日から施行

質疑 今回制定する条例には、本市の独自性が盛り込まれているかどうか伺う。

答弁 独自性は、市民との協働と自主防犯活動にあると考えている。本市の自主防犯活動は、県下でも一、二を争う団体数、構成人員があり、防犯上の大きな強みと考えている。

条例の一部改正

◇下水道条例の一部を改正する条例

公共下水道事業計画の変更の認可に伴い、新たな区域を排水区域

及び処理区域として加えるもの。▼平成22年1月1日から施行

質疑 市街化調整区域へ下水道を整備する効果について伺う。

答弁 生活環境の改善や公共用水域の保全是もとより、市街化調整区域内の定住促進と地域の活性化が図られる。また、県下最大の処理場を持つ矢作川流域下水道のスケールメリットを最大限に生かすことにより、将来にわたっての流入量の増加による維持管理費の負担軽減や、今後更に厳しくなると予想される水質基準にも柔軟に対応することができ、環境への負荷が一番少ない処理方法になると考えている。

補正予算

○「平成21年度岡崎市一般会計補正予算(第4号)」

◇衛生費

質疑 本市における新型インフルエンザワクチンの接種費補助の対象者について伺う。

答弁 国が負担軽減を行う予定の妊婦、基礎疾患を有する者、1歳から小学校3年生までの者、1歳未満の乳児の保護者に加え、小学校高学年、中学生、高校生及び65歳以上の高齢者のうちで市民税非課税世帯の者へ補助を行い、対象者は1万6900人ほどと見込んでいる。

◇消防費

質疑 全国瞬時警報システムの内容及び稼働時期について伺う。

答弁 経済危機対策に基づく国の1次補正により、「J-ALERT」と呼ばれる全国瞬時警報システムが全国一斉に整備される。これは消防庁が発信する地震情報や、国民保護法に基づく情報を、衛星通信を利用して市役所で受信し市民に伝えるもので、本市では、その情報を防災ラジオを通じて配信する計画である。工事の着手は平成22年7月頃、稼働開始はおおむね10月頃と見込んでおり、今回計上した補正予算は、全額22年度に繰り越しする。

平成21年度補正予算

12月補正後の予算額

一般会計 (12月補正額)	1,160億5,532万円 (18億3,268万円)
特別会計 (12月補正額)	831億1,392万円 (7億9,957万円)
企業会計 (12月補正額)	308億6,833万円 (△3億3,296万円)
計 (12月補正額)	2,300億3,757万円 (22億9,929万円)

討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

市長提出議案

○『犯罪のない安全・安心なまちづくり推進条例の制定』

○『市民清風会』は、「自主防犯活動団体数や構成人員がますます増えるよう、法的根拠や支援を与えることを明確にして、持続的かつ効果的に取り組むものとして評価する」と意見を述べ、賛成した。

○『ゆうあい21』は、「地域と行政や関係機関の一層の連携を進め、地域活動への支援拡充と人材育成、そして犯罪抑止、被害防止のための活動等の推進及び環境整備に取り組まれない」と意見を述べ、賛成した。

○『公明党』は、「防犯に対する意識を高め、地域の防犯力の向上に努めていただくとともに、犯罪の温床になりやすい空地、空家対策にもしっかりとした対応をされた」と意見を述べ、賛成した。

○『無所属・日本共産党』は、「戦前の隣組組織のような、行き過ぎた防犯活動とならないよう留意し、

市民の安全を守る市政を要望する」と意見を述べ、賛成した。

○『市立学校設置条例の一部改正』

○『市民清風会』は、「統合後の額田地域の学校を地域の中心施設として有効に活用できるように、新たなふるさとづくりについて検討されたい」と意見を述べ、賛成した。

○『ゆうあい21』は、「児童の通学は、地域住民の協力により乗合バスを利用するが、最初は慣れないことなので、バスの乗り降りなど安全に配慮されたい」と意見を述べ、賛成した。

○『公明党』は、「統合後の小学校跡地や施設については、地域住民の意向を十分尊重し、地域にとって有効な活用となるよう要望する」と意見を述べ、賛成した。

○『無所属・日本共産党』は、「地域活性化の議論において、様々な提案に対して、市が努力してこなかったことの責任は大きい」とし、反対した。



統合される鳥川小学校

○『心身障がい者福祉扶助料条例の一部改正』

○『市民清風会』は、「今後の福祉サービスの増加に備え、サービスの質の充実を図るよう要望する」と意見を述べ、賛成した。

○『ゆうあい21』は、「見直された分が障がい者全体のサービスの向上に充てられることを期待する」と意見を述べ、賛成した。

○『公明党』は、「今後の障がい福祉サービスの増加に加え、将来を見据えた質的な向上を図りたい」と意見を述べ、賛成した。

○『無所属・日本共産党』は、「市民税課税の人たちと65歳以上で新たに障がい者手帳を持った人たちには支給されず、福祉の後退である」とし、反対した。

○『下水道条例の一部改正』

○『市民清風会』は、「調整区域の下水道が整備されることで、市街化区域の住民にとっても生活環境の改善に効果が期待できる」と意見を述べ、賛成した。

○『ゆうあい21』は、「関係部局との連携を図り、地域性・経済性・効率性を十分に考慮された整備計画に努められた」と意見を述べ、賛成した。

○『無所属・日本共産党』は、「住民に説明がされておらず、コスト面だけで、環境負荷や水質、地域経済への影響など総合的に勘案されていない」とし、反対した。

年間の議会活動 平成21年中

本会議開催状況

会議名	会議日数	質問者数		討論者数
		代表質問	一般質問	
3月定例会	7日	3人	—	6人
6月定例会	7日	—	25人	4人
9月定例会	6日	—	17人	3人
12月定例会	6日	—	18人	6人
定例会小計	26日	3人	60人	19人
11月臨時会	1日	—	—	5人
臨時会小計	1日	—	—	5人
本会議合計	27日	3人	60人	24人

本会議審議状況

市長提出議案	150件
条例	44件
予算	60件
決算	3件
その他	43件
議員提出議案	10件
条例	2件
意見書	4件
その他	4件
請願	9件
選挙	4件

委員会開催状況

委員会名	会議日数
福祉病院	15日
環境教育	13日
経済建設	13日
議会基本条例設置	13日
東岡崎駅周辺整備検討	9日
公共交通対策	6日
防災防犯対策推進	1日
決算	5日
議会運営	16日

議案・請願・陳情審議結果	12月定例会	(○賛成、×反対)		
		採決結果	会派別賛否	
件名		自民清風会	ゆうあい21	公明党
市長提出議案				
字の区域の設定及び変更		可決	○	○
愛知県後期高齢者医療広域連合規約の一部改正等に関する協議		〃	○	○
財産の取得（都市計画道路3・4・101岡崎環状線用地）		〃	○	○
市道路線の認定		〃	○	○
工事請負の契約の変更（下水道管渠〔かんきょ〕築造工事）		〃	○	○
職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正		〃	○	○
犯罪のない安全・安心なまちづくり推進条例の制定		〃	○	○
心身障がい者福祉扶助料条例の一部改正		〃	○	○
児童育成センター条例の一部改正		〃	○	○
市営住宅条例の一部改正		〃	○	○
地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正		〃	○	○
下水道条例の一部改正		〃	○	○
市立学校設置条例の一部改正 ※（下段参照）		〃	○	○
平成21年度一般会計補正予算（第4号）		〃	○	○
平成21年度下水道特別会計補正予算（第2号）		〃	○	○
平成21年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）		〃	○	○
平成21年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）		〃	○	○
平成21年度競艇事業特別会計補正予算（第1号）		〃	○	○
平成21年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		〃	○	○
平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		〃	○	○
平成21年度介護保険特別会計補正予算（第3号）		〃	○	○
平成21年度額田北部診療所特別会計補正予算（第1号）		〃	○	○
平成21年度病院事業会計補正予算（第2号）		〃	○	○
平成21年度水道事業会計補正予算（第2号）		〃	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任		同意	○	○
人権擁護委員の推薦		答申	○	○
請願				
外国人へ参政権を付与する法案に反対すること		採択	○	×
陳情				
学校生活期間中の精神障がいに対する兆候発見の体制作りを求めること				
精神障がい者の福祉サービスを身体・知的障がい者と同一水準に引上げる事を求めること				
原爆症認定基準の抜本的改善を求める意見書の提出				
議員の期末手当（ボーナス）、海外視察及びグリーン車使用の廃止を求めること				
議員定数および議員報酬の見直し				
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充				

意見を付して議長に報告することとした。

※地方自治法第244条の2第2項に基づく重要な公の施設の廃止に該当するため、出席議員の3分の2以上の同意により可決。

委員会の活動（10月～11月）				
常任委員会	総務企画委員会		福祉病院委員会	
	10月27日	行財政改革大綱	10月26日	多文化共生
	環境教育委員会		経済建設委員会	
	10月26日	陳情の審査、学校指導方針	10月27日	陳情の審査、藤川地区整備事業
特別委員会	東岡崎駅周辺整備検討特別委員会			
	10月28日	陳情の審査		
議会運営委員会				
	11月2日	11月臨時会の運営	11月19日	12月定例会の運営

※常任・議会運営・特別の各委員会は11月13日の臨時会に併せて正副委員長の互選を行いました。

一般質問

効率的で分かりやすい議会運営を推進するため、一般質問に一問一答方式を導入し、本定例会が初めての実施となりました。18人の質問議員のうち10人の議員が一問一答方式を使って質問しました。なお、記事には太字の項目を掲載しています。

- 木全昭子議員(無所属・日本共産党)
 - 安心して老後を迎えられる福祉施策の充実
 - 介護保険制度の充実
 - 申請主義となつている減免制度
 - 子どもの発達支援
- 清水克美議員(ゆうあい21)※
 - 図書館交流プラザ
 - 健康おかざき21計画
 - 雇用・就労の確保
 - 鳥獣害対策
 - 公園整備事業
- 竹下寅生議員(ゆうあい21)
 - 教育行政
 - 子育て支援の充実
 - 公園整備
 - 陸上競技場の充実
- 井手瀬絹子議員(公明党)※
 - 消防団
 - ―T施策
- 柴田敏光議員(ゆうあい21)※
 - 新文化会館の現況
 - 安全安心な街づくり
 - 地球温暖化
 - 本市の施設に提供する食材
- 安形光征議員(自民清風会)※
 - 豊富小学校改築・耐震工事
 - 豊富地区の都市計画編入
 - 下水道管理設地区内に近接する住宅排水

市政のここが聞きたい

- 鈴木雅子議員(無所属・日本共産党)※
 - 来年度予算編成方針
 - 生活保護
 - 不況下での中小零細業者の生活と経営を守る施策
 - 医療制度
- 神谷寿広議員(自民清風会)
 - 森林整備
 - 地震災害時の飲料水確保
 - 食中毒
 - 産婦人科医療
- 畔柳敏彦議員(公明党)※
 - 就学援助制度
 - 非常備消防の体制強化
- 村越恵子議員(公明党)
 - 福祉の村基本構想
 - 深刻化する介護現場
 - 多重債務問題
 - 子ども施策
 - 学校給食での食物アレルギー対応
- 柴田泉議員(自民清風会)
 - 平成22年度当初予算編成
 - 防火管理
 - 部の経営方針
- 大原昌幸議員(無所属)
 - 水害対策
 - ヒートアイランド対策
 - 交通渋滞
- 太田俊昭議員(ゆうあい21)※
 - 市長の政治姿勢
 - 交通安全の推進
 - 防災体制の推進
- 築瀬太議員(自民清風会)※
 - 地域医療体制の充実
 - 介護施策
 - 中心市街地活性化
- 近藤隆志議員(自民清風会)※
 - 新年度予算編成
 - 行政組織
 - 斎場
- 加藤学議員(ゆうあい21)※
 - 良質な公共サービスの安定的な提供に向けた行政体制の確立
 - 生活排水対策事業
 - 学校規模の適正化
- 鈴木雅登議員(自民清風会)
 - 健康な体づくりと医療制度
 - 市民農園の奨励
 - 鳥獣害対策の進捗
 - クラフト(手工芸品など)市場の創設
 - 図書館交流プラザの資料写真の保存・閲覧の整備
- 柵木誠議員(無所属)
 - 岡崎駅南土地地区画整理事業

※印がついている議員は、一問一答方式を使って質問しました。

介護保険制度の充実

■木全 昭子(無所属・日本共産党)

問

介護保険料の減免を受けるには、該当者が申請をしなければならず、一人暮らしの高齢者や老老介護を行っている人たちがこの制度を知り減免の申請をするのは難しい。申請主義を見直す考えはないか伺う。また、介護保険の利用料減免制度を保険料の制度と同様にする考えは。

答

減免申請については、その年度の減免であり、毎年度の申請としている。所得要件以外にも生活状況などの要件もあり、本人から聞き取りをする必要があるため、申請により受け付けている。なお、前年度に生活困窮の減



免申請があり、今年度も該当になると思われる方には年度の後半に文書でお知らせをしている。保険料については平成21年度から所得段階を細分化し、低所得者及び中程度の所得階層の方々の負担軽減を図っており、一定の階層を対象とした市独自の減免も行っている。利用者負担額の関係については、保険料の考え方と同じにすることが適当かどうか今後検討したい。

図書館交流プラザ

■清水 克美 (ゆうあい21)

問 図書館交流プラザの閲覧場所は学生たちに人気が高く利用者も多い。春休みや夏休み、週末などにぎわう時には整理券を配布していると聞くがその状況について伺う。また、図書館以外のスペースも活用してはどうかと思いが見解を伺う。

答 学校の中間・期末試験の前には高校生などの学習利用が増え、特に混雑する試験1週間前の土日、休日には2階ポピュラーライブラリーの238席と1階レファレンスライブラリーの48席について朝8時半から整理券を配布し、その他の席は一般利用者を優先として対応してきた。整理券配布については年度初めに市内の高校に、1週間前からは館内にも掲示し周知してきた。開館当初は

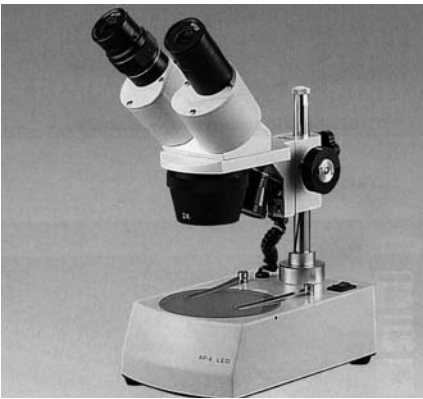
混乱が見られたが高校生の間では定着してきた。お堀通りや休憩所のテーブルは一般の利用を確保するため一部学習利用を制限した。今後、特に混雑する日には図書館内のグループ室や隣接する会議室の開放なども行っていきたい。

教育行政

■竹下 寅生 (ゆうあい21)

問 学習指導要領の改訂により、理科の授業時間数が増加し、実験等も増えると思うが、機材や教室の整備はどのようになっていくのか。また、教職員のスキルアップのための研修計画についても伺う。

答 実験や観察機材等の整備については、新学習指導要領に対応するため個別化を図るよう指示するとともに、各小中学校に双眼実体顕微鏡などの整備を始めた。また、教員のスキルアップに



双眼実体顕微鏡

いち早く取り組むため指導資料を全教員に配布するとともに、夏休みの研修会を実施し、多くの教師が具体的な授業方法を学んだ。平成22年度末までには理科指導員が学校を訪問し、新学習指導要領の趣旨や改善点の周知及び授業研究を行い教師の指導力向上を図っていくこととしている。更に、充実した実験や観察ができるよう、多くの新しい実験や観察の事例を記載した理科の実践事例集を作成し、22年2月には全小中学校に配布する予定である。

消防団

■井手瀬 絹子 (公明党)

問 消防団の活性化に向け事業所の被雇用者が入団しやすい環境整備が重要であり、消防活動への一層の理解と協力が必要である。消防団協力事業所表示制度を導入することについて市の見解を伺う。

答 本市の消防団員もサラリーマンの比率が高くなり、地域の防災力を維持向上させるためには消防団協力事業所表示制度の導入は不可欠と考える。消防団協力事業所表示証を交付し、市民への周知を図ることは事業所の信頼性を高めることに加え消防団への

入団促進や活動環境の整備、団と事業所との連携強化が図られるため早期に制度を導入したい。認定基準としては、従業員が本市の消防団に2名以上入団している事業所を本店・支店等の区別なく対象としたいと考えている。企業側のメリットとしては、入札参加資格審査における優遇措置等が認められるよう進めていきたい。

新文化会館の現況

■柴田 敏光 (ゆうあい21)

問 新文化会館建設の主な候補地として現在の市民会館の敷地と中心市街地地区及び中央総合公園文化ゾーンが挙げられている。それぞれの候補地にはメリット、デメリットがあるが選定の進捗状況は。また、市民アンケートの結果についても伺う。

答 候補地の選定については、第6次総合計画基本構想と新文化会館整備基本構想を踏まえ、それぞれの土地の状況、法規制の内容、交通の利便性や公益性、そして事業実現性の観点などをもとに選定を進めている。その結果、中心市街地地区、具体的には康生西地区が土地利用の自由度が高く、交通の利便性に優れ、公益性の高い地区であること、また近頃この地区における再生、再編の動きを考慮すると、優先的に検討を進



市民会館

めるべき候補地であると考えている。市民会館とせきれいホールの施設利用者等を対象としたアンケートにおいても、わずかな差ではあるが候補地として中心市街地が最も多いという結果であった。

豊富地区の都市計画編入

■安形 光征 (自民清風会)

問 新インターチェンジ周辺の都市計画の説明会も開催されているようだが、まちづくりの基本方針について伺う。また平成22年度に都市計画区域に、26年度以降には一部の市街化区域の指定を目指すという条件は。

答 第二東名高速道路の開通が平成26年に予定されており、(仮称)額田インター周辺の整備について、企業団地の周辺には工業や流通などの土地利用を誘導し、住環境の向上と有効な土地利用の

ため市街地は基盤整備を進め、本市の東の玄関としてふさわしいまちづくりを進めていきたい。また、市街化区域への編入には面積要件として、工業地で20ヘクタール以上、支所の徒歩圏内おおむね1キロ区域では20ヘクタール以上、人口要件として1ヘクタール当たりの人口が40人以上の区域が連担して3000人以上となることなどの条件があり、市街化区域編入には、市街地にふさわしい基盤整備と地権者や地元との理解と協力が不可欠と考えている。

生活保護

■鈴木 雅子(無所属・日本共産党)

問 無料低額宿泊施設によって生活保護費を搾取する団体の存在が問題とされている。市内には毎月の住宅料に加え、管理費や布団レンタル料なども徴収し、その上一時的な保護施設にもかかわらず一般のアパートへの転居を認めない施設もあると聞く。県派遣村の弁護士からはこの事態の調査と指導対応を求められているが、この問題に対する市の対応は。

答 無料低額宿泊施設には、宿泊のみを提供する施設のほか、食事の提供や就労指導を行う施設などもあり料金に差が出る。認可に当たって当該施設の料金は

他の施設と比べ不当に高い金額ではないと判断したが、調査の申し出があったことから社会福祉法に基づき調査した結果、違法性はなく民間の問題として回答した。その後、再度の調査依頼があり、現在入所者の聞き取りや施設への立ち入り調査なども進めているが、今後、生活保護を検証する委員会も設置し検討していきたい。



生活保護窓口

地震災害時の飲料水確保

■神谷 寿広 (自民清風会)

問 毎年天作北学区を挙げて大々的に行われている総合防災訓練は、危機管理意識が高まり地震発生の際には被害を最小限に抑えることができると思う。消防に必要な水利施設として整備された

さく泉防火水槽の水を飲料水として利用することは可能か。また、常時使用するための点検について

その方法は。

答

平成14年に市内52カ所すべてのさく泉防火水槽を対象に大腸菌、一般細菌、有機物、濁度、色度、臭気、電気伝導率などの10項目の水質検査を行い、48カ所は水道水としての基準に達しなかった。残りの4カ所についても46項目にわたる詳細な調査を実施した結果、煮沸しても飲料水には適合しないとの結果であった。また、水槽の点検は、管轄する各消防署所及び一部の消防団において定期点検及び放水訓練を行い流量確認を実施するほか、年間1カ所を、さく泉防火水槽設置業者に清掃業務を委託し維持管理を行っている。

就学援助制度

■畔柳 敏彦 (公明党)

問 保護者の精神的、経済的な負担の軽減のためには、就学援助対象者の学校給食費を就学援助費の保護者への支払いから直接学校へ支払う方法も導入すべきであると考えるが見解は。また、本市が今まで直接払いをしていない理由についても伺う。

答

就学援助制度は、子どもの就学において保護者が負担すべき費用の一部を援助する制度であり、学校給食費もその制度により保護者に支給している。本市



が直接払いをしていない理由は、就学援助を受けている我が子が、受けていない子どもたちと支払い方法が違うことを拒み、同じ支払い方をしたいと申し出ている保護者がいるためである。就学援助を受けている保護者が学校給食費を滞納しているケースはほとんどないが、保護者の月々の負担を軽減するためのものであるため、自分の口座への振り込みを希望している保護者の理解を得ながら、直接払いの早期実現に向けて検討していきたい。

福祉の村基本構想

■村越 恵子 (公明党)

問 福祉の村は平成21年3月に社会福祉審議会からその在り方に関する答申があり、身体・知的・精神の3障がいの拠点施設としての整備に向けた検討が進められていると思うが、基本構想の

内容について伺う。また今後のスケジュールは。

答

福祉サービス利用者へのアンケート結果の中に、福祉の村を障がい児・者の総合拠点施設化することや発達障がい児への支援及び総合相談体制の充実などの意見があった。基本構想策定委員会からは総合施設への特化や他の施設との機能分担及び情報拠点施設とすることなどの方向性が示され、これを基本に増改築や総合相談事業など新たな機能の追加と、発達障がい児の医療相談などを行う（仮称）子ども発達センターの建設について検討を進めている。平成21年度中に基本構想の案を作成し、22年度に社会福祉審議会へ諮問して、利用者団体や医師会などへの説明も行い基本構想を策定していく。

平成22年度当初予算編成

■柴田 泉 (自民清風会)

問 本市において平成21年度は法人市民税、さらに22年度は個人市民税を中心に収入が激減するとの予測がある。22年度当初予算編成において、市民生活への影響が心配である。現時点における予算編成の中で、財源などの影響により事業が中止になるような市民生活へ直接影響するようなことがあるのかどうか伺う。

答

22年度当初予算の中で市民生活への影響については、極力少なくする予算編成が望ましいところである。現在、個々の事業について具体的に説明できる段階ではないが、市民の方々にも一定の我慢をしてもらうことも避けられない状況と考えている。そのため、新規事業だけでなく、今まで行っていた事業についても延期、中止、廃止、縮小といったこともお願いすることになってくるものと考えている。また、市全体の方針として、市から市民の方々や団体への補助金については、一律10%の削減をさせていただきたいと考えている。



交通渋滞

■大原 昌幸 (無所属)

問 集中豪雨の要因とされるヒートアイランド現象を防止するには自動車の排熱を抑えるこ

とが必要で、その原因の一つとされる渋滞対策としてITS（高度道路交通システム）の実施や信号制御の高度化が有効と考えるが、市の渋滞緩和策について伺う。

答

第4次渋滞対策プログラムには国道1号の八帖交差点を始めとする市内8カ所と高速道路の4カ所に渋滞の激しい地区が挙げられ、総合交通政策では平成17年度の主要幹線道路の渋滞損失時間を基準に25年度までの計画期間で削減していくことが目標とされている。豊田市では、国の補助を受け、信号制御の高度化実験が実施されたが、本市においてはPTPS（公共交通優先信号システム）を岡崎駅と東岡崎駅間で18年度に導入し、バスの定時性、速達性の確保を図ってきた。今後、渋滞緩和を含む円滑で快適な交通体系整備について県などと連携してITS活用についても研究を進めていく。

防災体制の推進

■太田 俊昭 (ゆっあい21)

問 西三河地方にさまざまな被害をもたらした台風18号により市内でもけが人が2人、停電3万戸、断水180戸、倒木による車両通行止めなどが報告されたが、平成20年8月末豪雨の教訓はどのように生かされたか。



エリアメール

答

あらかじめ台風接近の時期が予測されていたこともあり、上陸の前々日の午後には全職員に気象情報への留意と非常参集への備えを訓辞した。前日には災害対策本部を立ち上げ非常配備体制を敷き、気象警報の発令前に避難所57カ所の開設、浸水常襲個所のパトロール、水防倉庫25カ所の開放、消防車両による広報活動など事前の対策を行った。また、今年度新たに設置した地域防災連絡員を実践配備し、避難所の運営や被害状況の収集をして地域との連絡に当たさせた。情報伝達においては防災ラジオへの緊急割り込み放送や今年度導入のエリアメールなど新たな媒体を用いて、避難所開設情報や停電に関する情報を迅速に提供することができた。

地域医療体制の充実

■梁瀬 太 (自民清風会)

問

放射線治療装置は総合病院なら当然整備すべき医療機器であり市民病院にも新病棟の建

設とともに導入されることだが、その事業計画は。また、西三河南部医療圏の分割が検討されていることだがその状況についても伺う。

答

新病棟は現在の病棟の南側に、地上3階、地下2階で計画し、病床利用率や医師確保などを考慮し50床程度と考えている。放射線治療装置とともに強度変調放射線治療やPET診断装置の導入についても院内の放射線ワークスペースで検討している。また、西三河南部医療圏の分割については県医療審議会の医療計画部会から岡崎幸田地区を西三河南部医療圏から分割する案を始めとする三つの案が提出され、平成23年4月の新医療計画の作成に向け、西三河南部圏域保健医療福祉推進会議で検討される。本市としては、西三河南部は圏域が広く計画決定に時間を要することなどから分割することが適当と考えている。

新年度予算編成

■近藤 隆志 (自民清風会)

問

新年度予算編成に対して、従来の編成方式を根本的に改め、早急に編成作業をやり直す必要があると思うが、編成作業の基本方針、編成プロセスの予算規模の見直しと併せ、市税の見直しについて伺う。

答

平成22年度の当初予算編成は、市税の大幅な落ち込みによる財源不足が早くから懸念されていたことから、義務的経費や内部管理業務などは一般財源ベースで前年度対比10%の削減、その他については10%以上の削減を図ることを目標に、現在、予算編成の日程を約1カ月早めるとともに昨年までの枠配分方式を改め、1件査定方式により査定作業を進めている。予算規模については、国の予算編成作業過程における地方への影響が把握できない状況であるため推測することは現状では非常に困難である。税収の見直しは、



質問コーナー



Q 一問一答方式ってなに？ 導入するとうなるの？

A 本定例会から一般質問に一問一答方式を導入しました。一問一答方式とは、議員がいくつかの質問をする中で、まず1項目についてのみ質問をし、その後何度か質問と答弁を行い、1項目の質問がすべて終了したら次の項目に質問が移る方式です。

従来は、予定するすべての質問を一度に質問しまとめて答弁する一括質問一括答弁方式で行なっていました。質疑と答弁のつながりが分かりづらい場合があるなどの意見もあり、分かりやすくとされる一問一答方式を導入することとしました。ただし、現在は議場配置の関係から1回目の質問は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降の質問を一問一答方式の一括答弁方式と一問一答方式のどちらかを議員が選択し質問することとしています。

今後も検討を続けよりよい議会運営を目指していきますのでご意見等がありましたらお寄せください。

随時修正をかけているが、現状では市税全体で前年比6%から7%減となる約40億円程度の減収を見込んでいます。

学校規模の適正化

■加藤 学 (ゆつあい21)

問 南中学校は現在1075人30学級であり、今後の過大規模解消を目的に新中学校の建設が進められている。その計画及び両学校の規模について伺う。また、隣接する竜海中学校の今後の生徒数等の見込みについても伺う。

答 南中学校の過大規模校解消のため新中学校は針崎町地内の日清紡工場跡地に敷地面積3万2千平方メートルで建設し、生徒数は約700人規模で計画している。平成21年度中に基本設計業務を行い、その後、実施設計、用地買収、学区割り協議等を進め、約2年間の建設工事を経て、開校を目指していく。南中学校は学区を南北に分離し南側を新中学校の学区とする予定で、両学校がほぼ同じ規模となるよう進めていきたい。また、竜海中学校は現在1073人32学級で過大規模校であり、今後も、六名の大型開発を抱えているため27年度にかけて徐々に増加していくと見込んでおり、25年頃には1150人、34学級を超える規模になると見込んでいます。

市民農園の奨励

■鈴木 雅登 (自民清風会)

問 定年退職を期に畑をやってみたいという声も多いため農業パイオセンターに農業指導と市民農園の土地のあっせんなどの窓口を設け、初心者指導を新しい業務に加えてはどうか。また、その役割にふさわしい名前に変えることについて見解を伺う。

答 バイオセンターは開設から16年が経ち、業務内容をより良い内容に変えていくということと、市民ニーズに応える、市民の方に理解してもらええる農業の拠点施設というような位置付けをして新たな展開をしていきたいと考える。具体的には優良種苗の育苗振興と土壌分析といった生産農家支援や新しい担い手となり得る人材の育成及び農業に触れ合い楽しむ市民体験事業の3本柱を中心にして、今後農業支援や市民の方が参加しやすい事業を充実するように業務の見直しを図っていく。名



農業バイオセンター

前も研究機関という堅いイメージではなく、今後事業の見直しに伴い、市民の方に親しみやすい名称に変更していく。

岡崎駅南土地区画整理事業

■柵木 誠 (無所属)

問 岡崎駅南土地区画整理事業は平成13年に準備委員会が開催され地権者への同意率86%でスタートして以来、これまでに多くの説明会や意見交換会が開催されてきたが、その会議の内容と開催の状況について伺う。

答 本事業は平成13年には組合施行の土地区画整理事業として計画が打ち出されていたが地元の合意形成に時間を要し、地権者への説明会は19年に入ってから動き出した。19年度は事業計画の内容説明と意見集約を図るための地権者への全体説明会を5回と、区域内の居住者を対象とした、たてつけ地意見交換会を3回開催した。20年度は全体意見交換会を3回と、たてつけ地意見交換会を6回開催し、12月7日の全体説明会では組合の設立を前提にした事業計画や定款の説明も行った。また、これとは別に各総代への説明会や隣接地域への説明会も行い事業の周知も図ってきており、今後も地権者や関係者の一層の理解を求め積極的に説明会を開催していく。

議会を傍聴して

○生で傍聴できて良かったと思います。クリーンな印象を受けました。自分の住んでいる街なので、また参加したいと思います。広報媒体では読みとれない事もリアルに体感できいい体験をしました。

(男性 35歳)

○想像していた以上に内容が分かりやすく、市民の暮らしに直結した質問、答弁でした。

(男性 32歳)

○議員が市民の身近な問題を取り上げ十分な準備のもと、質問されている姿に感銘しました。回答も真剣な姿勢で好意がもたれました。今後とも、積極的に市政向上を目指し活発な議論を願います。

(男性 60歳)

○議員席と傍聴席の距離が近く身近に感じ、緊張感が伝わりました。一問一答方式併用の議会は、やりとりがあり、いい事なので今後もこの様な形で議会を運営して頂きたい。

(男性 40歳)

○活発な議論で大変よかったです。市政をこれからも見守っていききたい。意義深い傍聴であったので今後も積極的に参加したい。

(男性 64歳)

3月定例会予定

2月25日(木)	請願・陳情締切
3月1日(月)	開会・市長提案説明
2日(火)	代表質問
3日(水)	代表質問
4日(木)	平成22年度議案説明
9日(火)	平成22年度議案総括質疑・委員会付託
10日(水)	平成21年度議案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決
12日(金)	経済建設委員会
15日(月)	福祉病院委員会
16日(火)	環境教育委員会
17日(水)	総務企画委員会
23日(火)	議会運営委員会
25日(木)	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

- 代表質問の通告内容は、開会日までにホームページに掲載します。(アドレスは下段に掲載)
- 開会、代表質問、閉会のもようは、ケーブルテレビミクスで中継する予定です。
- 各会議の開催時刻は午前10時の予定です。

一定例会のもようをインターネットで配信します。

平成22年3月定例会以降の本会議の録画映像をインターネットで放送します。

岡崎市議会のホームページ(下欄に掲載)に、会議のあった日から概ね10日後に議員ごとの一般質問のもようやその他本会議の内容の録画映像を掲載していきますので、ぜひご覧ください。

(平成21年12月定例会の録画映像を2月19日より試験放送します。)

なお、ケーブルテレビミクスによる中継も引き続き放送していきます。

映像をご覧になるには、動画閲覧ソフト「Windows Media Player Ver.9(無料)以上」などが必要です。

採 択 請 願

●外国人へ参政権を付与する法案に反対することについて

理由 地方参政権は、日本国憲法において、その自治体の住民の選挙とすることが定められており、平成7年の最高裁判所の判決では、その住民は日本国民を意味するとされている。

◎処 理 議会の意思を表明するため、同趣旨の要望書を関係機関に提出しました。

請 願 と 陳 情

市政について意見があるときは、請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願は市議会議員の紹介を必要としますが、陳情の場合はその必要がありません。

市議会では、請願については委員会で審査した後、本会議で採択か不採択を決定し、その結論を請願者へ通知し、必要と認める場合は関係機関に処理結果の報告を求めます。一方、陳情は委員会で意見を述べるだけで、本会議に報告した後、関係機関に意見を付して処理を要請します。また、審査結果を陳情者へ通知しています。

請願(陳情)書式例

〇〇〇に関する請願書 (陳情書)	平成 年 月 日
	(あて先)岡崎市議会議員 〇 〇 〇 〇
	住 所 代表者氏名
(請願書のみ)	〇〇〇に関する請願(陳情)
紹介議員 岡崎市議会議員 氏名	1 要旨 何々々であるので 何々々してください
	2 理由.....

◎議会の日程、傍聴、請願・陳情などに関する事項は、議事課(☎23-6378)までお問い合わせください。

議会ダイヤル ☎

自民清風会	☎23-6390
ゆうあい21	☎23-6394
公 明 党	☎23-6396
無所属	日本共産党 ☎23-6397
	無 所 属 ☎23-6385
議会事務局	☎23-6377

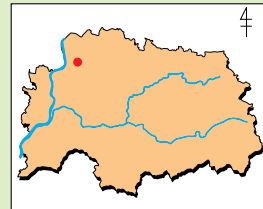
梅のつぼみもそろそろ膨らみはじめるころとなりました。12月定例会では、議会基本条例の制定による具体的な活動として、一般質問において一問一答方式を導入し、効率的で分かりやすい議会運営に努めました。

また、犯罪のない安全・安心なまちづくり推進条例の制定、過小規模校の統廃合を行う学校設置条例の改正や一般会計補正予算など市民生活に欠かせない多くの議案を審議し、可決しました。これらの主な内容を掲載し、お届けします。



編集後記

○奥殿陣屋では白、赤、ピンクの葉ボタン約1240株を使い今年も干支が表現されています。かわいい「とら」のデザインは2月末ごろまで楽しむことができます。



表紙の写真 ...奥殿陣屋...